

TOTO

スぺーサー

THD15型

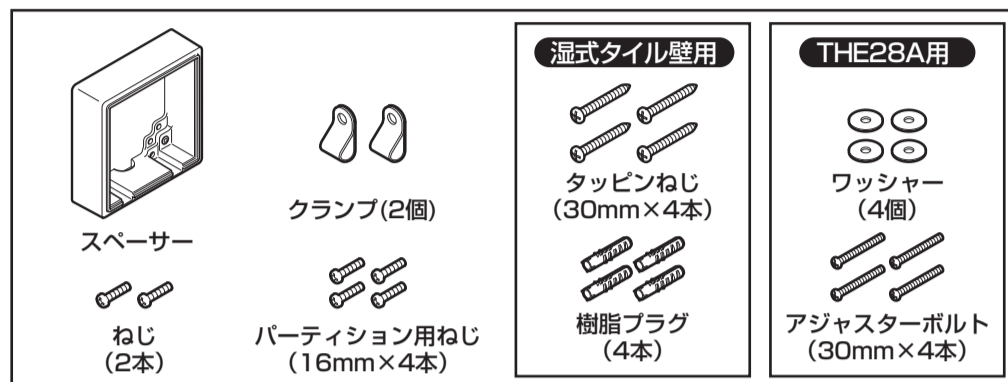
この商品は人体感知センサーユニット（THE28型）とセットで使用することにより、人体感知センサーユニットを壁の中に埋め込まず、モール材を利用して使用できます。商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1. 完成図

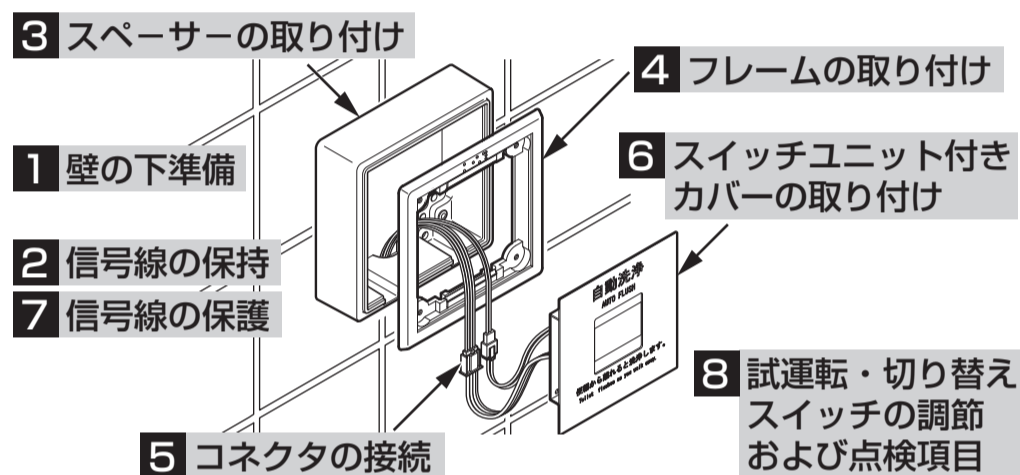


※TES26・27型にも利用できます。

2. 部品の確認



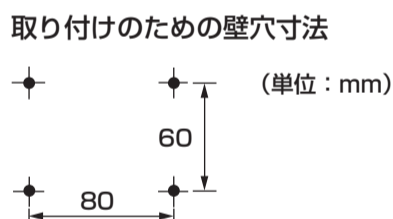
3-1. 施工手順



3-2.

1 壁の下準備

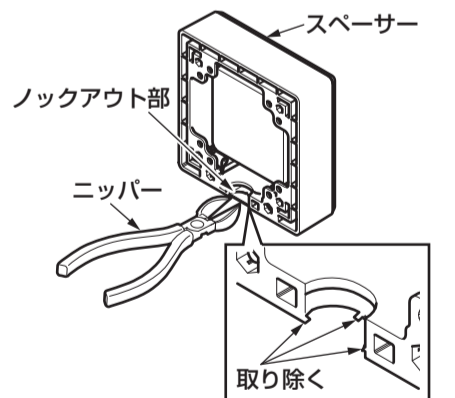
THE28型と同梱されている施工説明書を参照ください。



2 信号線の保持

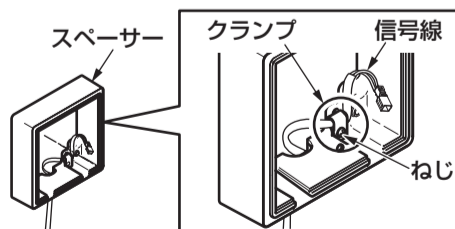
①スぺーサーの信号線取り出し口を加工する。ニッパーでノックアウト部を外し、切り口（3カ所）を完全に切り除いてください。

- 切り口は完全に切り除いてください。信号線を傷つけて操作不良になったり掃除のときにけがをするおそれがあります。
- ノックアウト部を下向き、左向き、右向きに取り付けることで信号線取り出し口の変更ができます。



②信号線をクランプでとめる。

クランプをねじ止めする際、強く押しすぎるとスぺーサー側ナットが外れるおそれがあります。ねじがナットにしっかりとねじ込まれるまでは強く押しすぎないでください。

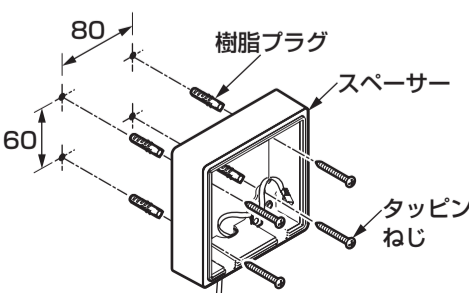


3 スぺーサーの取り付け 湿式タイル壁の場合 (単位:mm)

①φ5mmの樹脂プラグ用の下穴を約35mmの深さにあける。

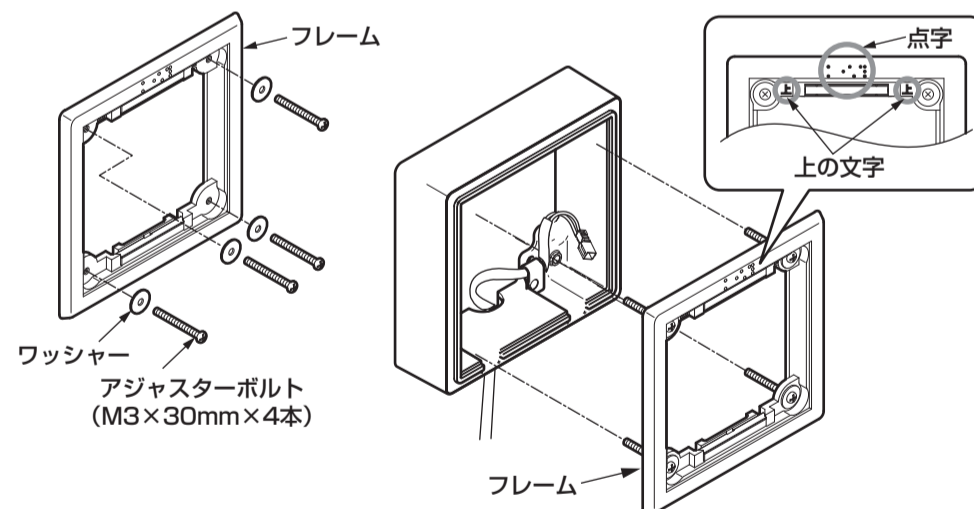
②スぺーサーを下準備しておいた位置にタッピンねじ30mmと樹脂プラグ（4本）で壁に取り付ける。このとき、必ず信号線の被覆先端をクランプで固定する。

※パーティション壁の場合はスぺーサーをタッピンねじ16mm（4本：同梱）で取り付けてください。



4 フレームの取り付け

人体感知センサーユニットTHE28型と同梱されている施工説明書を参照ください。



アジャスターボルトをスぺーサー側ナットにねじ込む際、強く押しすぎるとスぺーサー側ナットが外れるおそれがあります。アジャスターボルトがナットにしっかりとねじ込まれるまでは強く押しすぎないでください。

5 コネクタの接続

人体感知センサーユニットTHE28型と同梱されている施工説明書を参照ください。

6 スイッチユニット付きカバーの取り付け

人体感知センサーユニットTHE28型と同梱されている施工説明書を参照ください。

7 信号線の保護

露出した信号線は、モールなどで保護してください。

8 試運転・切り替えスイッチの調節および点検項目

人体感知センサーユニットTHE28型と同梱されている施工説明書を参照ください。